

取扱説明書



TVS11A STEREO REMOTE VOLUME CONTROLLER

'22 06更新

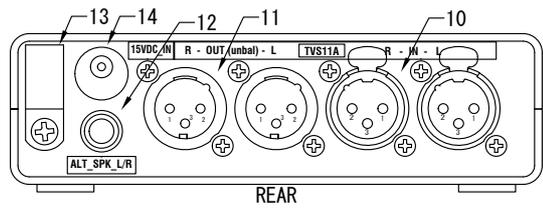
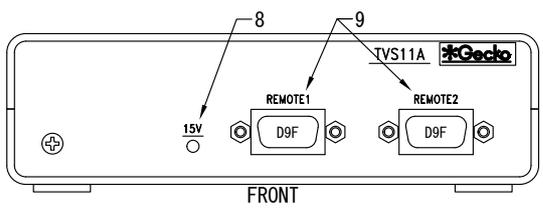
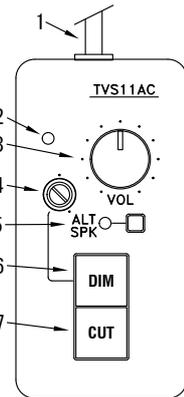
別紙、取扱説明書-2 安全にお使いいただくためのご注意 を先にお読みください。
2通合わせて取扱説明書となります。分離せず一組として一緒に保管してください。

製品内容： TVS11A製品本体 x1、TVS11ACリモートボックス x1、15V/ACアダプター(コード1.5m) x1、取扱説明書 x1

各部の機能

- 1: リモートボックス接続コード D9M 直出し 1.8m。
- 2: POWER インジケーター。赤色LED。
- 3: VOLUMEツマミ。MAIN (XLR)、ALT SPK (ST Phone) の出力音量を調整します。
- 4: DIMツマミ。DIMレベルを調整します。-36~-6dB
- 5: ALT SPKスイッチ/インジケーター。押す度にMAIN/ALT SPK出力を切り替えます。緑色LED。
- 6: DIMスイッチ。赤色LED。外部制御DIM時も点灯します。***DIM+ALTでMONO切替します (ALT点滅)**
- 7: CUTスイッチ。赤色LED。外部制御CUT時も点灯します。
- 8: POWER インジケーター。赤色LED。
- 9: REMOTE1, 2コネクター。D9F (#4-40)。TVS11ACリモートボックスおよびDIM, CUT外部制御接続用。
REMOTE1, REMOTE2にそれぞれTVS11ACを接続して2か所から操作することができます。
- 10: 音声入力コネクター。XLR3F。
- 11: メイン音声出力コネクター。XLR3M。
- 12: ALT SPK音声出力コネクター。ST Phone Jack
- 13: コード抜け止めループ。ACアダプタープラグをループに通してからDCジャックに接続します。
- 14: DCジャック。15V IN (5.5/2.1) 付属ACアダプターを接続します。(*他のACアダプターは接続しないでください)

*DIM押し+ALT SPK押しで
MONO切替します。
(MONO時 ALT SPK点滅)



リモートボックス接続

電源投入前に付属リモートボックスをREMOTE1に接続しておきます(出荷状態ではREMOTE1, 2どちらも同様の機能なので後述の“REMOTE MODE”の変更を行わない場合REMOTE2に接続することもできます。接続時は必ずVOLを絞り切っておいてください)。リモートボックス未接続の状態ではVOLは最小(=無音)になります。リモートボックスの直出しケーブル1.8mでは短い場合、別売品のD9M-Fケーブルで延長できます。

！注意！ DIM, CUTは動作するがVOLが効かないことがあります。この場合一度VOLを絞り切ってから上げると解消します。VOLとDIMレベルの制御はREMOTE1, 2どちらかの択一操作です。現在何らかの原因で制御が他方にあるとVOLが効きません。VOLを一度絞り切る操作(VOL切替)をするとVOLが効くようになります。この状態は絞り切り操作時に本体内部メモリに保存されますのでREMOTE1, 2の接続が変更されるまでVOL切替操作は不要です。出荷時VOL制御はREMOTE1です。

VOL 音量設定動作

リモートボックスVOLの音量位置は最大音量から-35dB分まで0.5dBステップで減衰し、真上位置(時計12時位置)が-20dBです。VOL操作を行うと設定レベルガイドとして2dBおきにALT LEDが点灯します(VOLノブの目盛りは減衰量に切りよく対応していませんので目安としてとらえてください)。レベルガイド点灯は終了時に点滅します。-35dB以下は減衰ステップが大きく(荒く)なります。小音量での音量微調整はDIMスイッチを併用します。

	点灯	X	点灯	X	X	X	点灯	X	X	X	点灯	X	X	X	点灯	X	X	点灯	← ALT SPK LED
*34以下は ガイド点灯なし	[34]	---	22.5	[22]	21.5	21	20.5	[20]	19.5	19	18.5	[18]	17.5	---	1	0.5	[0]	← VOL減衰量 (dB)	
	VOL12時位置																	VOL最大	

接続スピーカーアンプの音量設定

VOL位置に対するスピーカー通常音量の事前設定を行います。本製品ではなくスピーカーアンプ側の音量設定を使用します。通常音量からの音量増マージンを20dBとします。リモートボックスのVOL位置真上(時計12時位置)でレベルガイドLED点灯が最大音量から-20dB(=音量増マージン20dB)です。ここが通常使用音量となるように、スピーカーアンプ側で聴感上の音量を調整します。ALT SPKが接続されている場合は同様にスピーカーアンプ側で調整します。ALT SPK出力はMAIN (XLR) 出力と同じ音量です(*“REMOTE MODE”が出荷時状態の場合)。
音量増マージンがもっと少なくない場合は(時計3時位置までの範囲で)VOL位置をさらに上げてこの設定を行います。通常音量設定を行わずに使用しても問題ありませんが、不必要な音量増マージンはノイズフロアが増加するため単にシステムの性能を低下させます。12時位置より大きい位置が通常使用音量となることを推奨します。

MONO (L+R) モニター

リモートボックスのDIM SWを押しながらALT SPK SW押しでMONO (L+R) モニター切替えます。MONOモニター時はALT SPK LEDが点滅します。

最大ゲインと最大出力について

入力はバランスおよびアンバランス+24dBu信号を取り扱えます。出力はXLR、ST Phone共アンバランスで最大+20dBuです。入出力間の最大ゲインは0dBです。入出力の最大レベルに差があるため、例えばVOL位置最大(ゲイン0dB)では本製品への入力が+20dBu以上で出力に歪みが発生します(時計3時位置以下では入力+24dBuでも歪みません)。

リモートボックス2台接続 MODE1 (MODE1=出荷状態 この他、MODE4はALT SPK切替機能無しのMODE1動作です)

REMOTE1, 2それぞれにリモートボックスを接続して2ヶ所から操作することができます。出荷状態ではREMOTE1, 2は同じ機能です。ALT SPK, DIM, MUTE SWは常に同時に操作できます。VOL DIMレベルはREMOTE1または2からの択一操作です。VOL操作できない側のVOLノブを一度絞り切ることによってVOL(とDIMレベルも一緒に)操作が切り替わります。“REMOTE MODE” MODE1です(出荷時はMODE1)。*リモートボックス2台をY分岐などを用いて一つのREMOTEコネクタに接続することはできません。必ずREMOTE1, 2それぞれに1台ずつとなるように接続してください。

リモートボックス2台接続 MODE2

“REMOTE MODE” MODE2では、REMOTE1に接続したリモートボックスはMAIN(XLR)のVOLとDIMレベルを、REMOTE2に接続したリモートボックスはALT SPK(ST Phone Jack)のVOLとDIMレベルをそれぞれ操作します。ALT SPK, DIM, MUTE SWは常に同時に操作できます。同一ソースを2ヶ所で切り替えてモニターする場合などに対応します。*リモートボックス2台をY分岐などを用いて一つのREMOTEコネクタに接続することはできません。必ずREMOTE1, 2それぞれに1台ずつとなるように接続してください。

“REMOTE MODE” 設定

“REMOTE MODE”の設定変更方法。リモートボックス1台の場合は出荷状態のMODE1と、他にMODE4が適用です。設定変更は変更が必要な場合のみ行ってください。(MODE4はALT SPK切替機能無しのMODE1動作です)

一旦本体の電源を切ります。スピーカーから不用意に音が出ないようにスピーカーアンプの電源を切る等しておきます。本体REMOTE1にリモートボックス1台のみ接続してREMOTE2の接続がある場合は外します。リモートボックスのALT SPK SWを押したまま電源を投入しSW押し継続のまま約5秒たつとCUT SWが点滅開始します。この状態でALT SPK SW押しを放すとCUT SWにALT SPK LEDが加わった点滅が継続し“REMOTE MODE”設定状態になります。CUT SWを押す毎に点滅が1、2、3、4回と変わりこれを繰り返します。MODE1が1回点滅、MODE2が2回、3回点滅のMODE3は特殊仕様用ですで使用しません。4回点滅がMODE4です。希望の設定でALT SPK SWを約5秒長押しして設定保存し通常動作に移行します。一度電源を切り、外していた接続がある場合戻します。毎電源投入時にALT SPK LEDに短時間“REMOTE MODE”が表示されますので変更後の電源投入時に確認します。

REMOTE 外部DIM, CUTの接続

リモートボックス1台接続の場合は空いているREMOTEコネクタにDIM, CUTの外部制御接続を行います。VOL、DIMレベルへの接続は安定動作を得るための条件がいくつかあるため通常は外部ボリュームの接続は行わないでください(追加技術情報はweb記載予定)。リモートボックス2台接続の場合は別売品D9MFF-Y分岐アダプターなどを使用して外部制御接続を行います。ALT SPK切り替えは接続回路形式が特別ですので外部制御を行いたい場合はREMOTEピン配を確認して回路的な整合を十分考慮した上で接続ください。*リモートボックス2台をY分岐などを用いて一つのREMOTEコネクタに接続することはできません。必ずREMOTE1, 2それぞれに1台ずつとなるように接続してください。

*Dサブコネクタの都合固定ネジは強く締めないでください。

REMOTE1, 2 ピン配

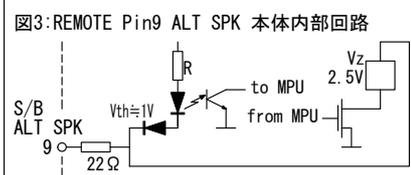
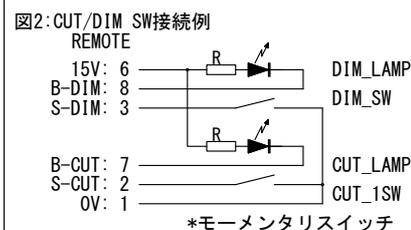
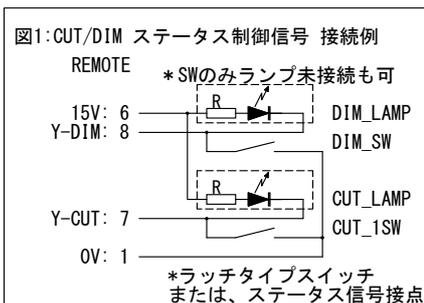
LI = logic_input_OV_common
OD = open_drain_output_OV_common(定格30V/30mA)
VAI = DC_analog_voltage_input_OV_common
PO = power_output

Pin No.	Description	type	note
1	OV/GND	PO	OV_SW共通
6	15V	PO	15V出力 LAMP出力用(30mA以下/REM1, 2合計)
2	S-CUT	LI	パルス入力CUT
7	B/Y-CUT	LI/OD	ランプ出力CUT(30mA以下)/ステータス入力CUTO
3	S-DIM	LI	パルス入力DIM
8	B/Y-DIM	LI/OD	ランプ出力DIM(30mA以下)/ステータス入力DIMO
4	VA-DIM1(2)	VAI	0-5V DC電圧入力 (0V音量最小/5V音量最大 Z=40kΩ)*1
9	S/B-ALT SPK	LI/OD*2	パルス入力/ランプ出力(30mA以下)/ALTスピーカー出力に切替
5	VA-VOL1(2)	VAI	0-5V DC電圧入力 (0V音量最小/5V音量最大 Z=40kΩ)*1
CASE	FG (sig GND)	--	

note: 電源再投入時はCUT ON、DIM ON、ALT OFFです。

*1: 二つのREMOTEコネクタは同様の機能です。両方にリモートボックスを接続した場合一度ボリュームを絞り切ってから操作することでボリューム(DIMレベルも)が切替ります(CUT, DIM, ALT SWは常に同時に操作できます)。他、本体設定によりMAIN, ALTそれぞれの専用ボリュームにすることができます。リモートボックス未接続の状態ではボリュームは最小(=無音)になります。

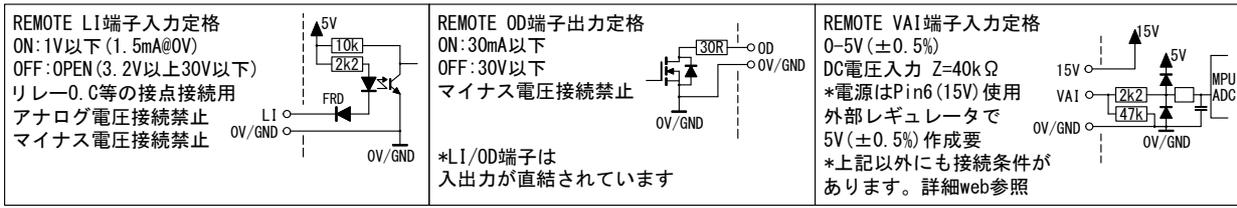
*2: Pin9 S/B-ALT SPKの回路動作は特別です(図3参照)。ランプ出力はOFF時オープン、ON時(ALT SPK状態)は約2.5Vにクランプされます。SW入力は約1V以下(=0V/GNDに接続)で動作します。SW動作時はランプ電流を2.5Vクランプ分SWショートで増加させることとなりますので付属リモートボックス以外の外部回路で動作させる場合は外部回路の設計に注意してください。



TVS11A

*REMOTE D9F Pin6:15V出力はランプ点灯用です。取り出し可能電流(リモートボックスを除いたREMOTE1, 2合計30mA)を超えないようにしてください。0Vや他のピンにショートさせると深刻な故障の原因となりますので注意してください。

ホームページの製品情報ページに使用上のヒントや注意点、より詳しい情報が掲載されていますのでご参照ください。

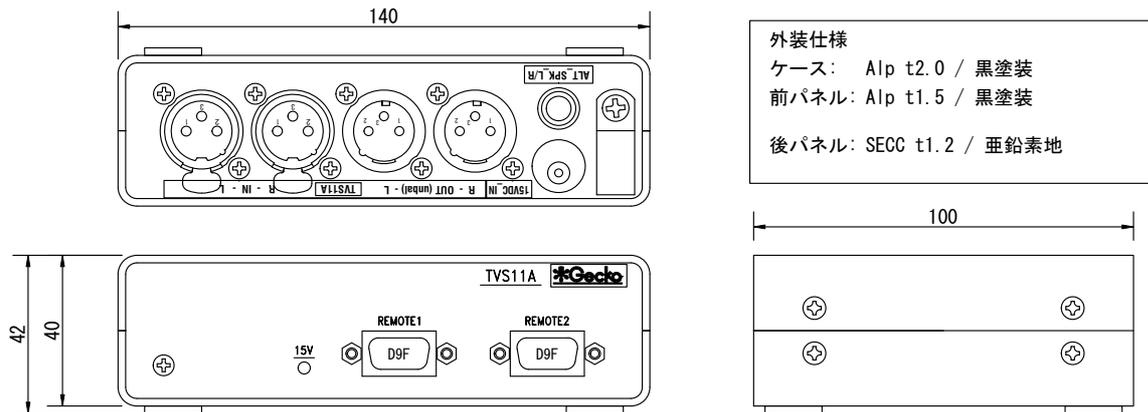


製品名: STEREO REMOTE VOLUME CONTROLLER

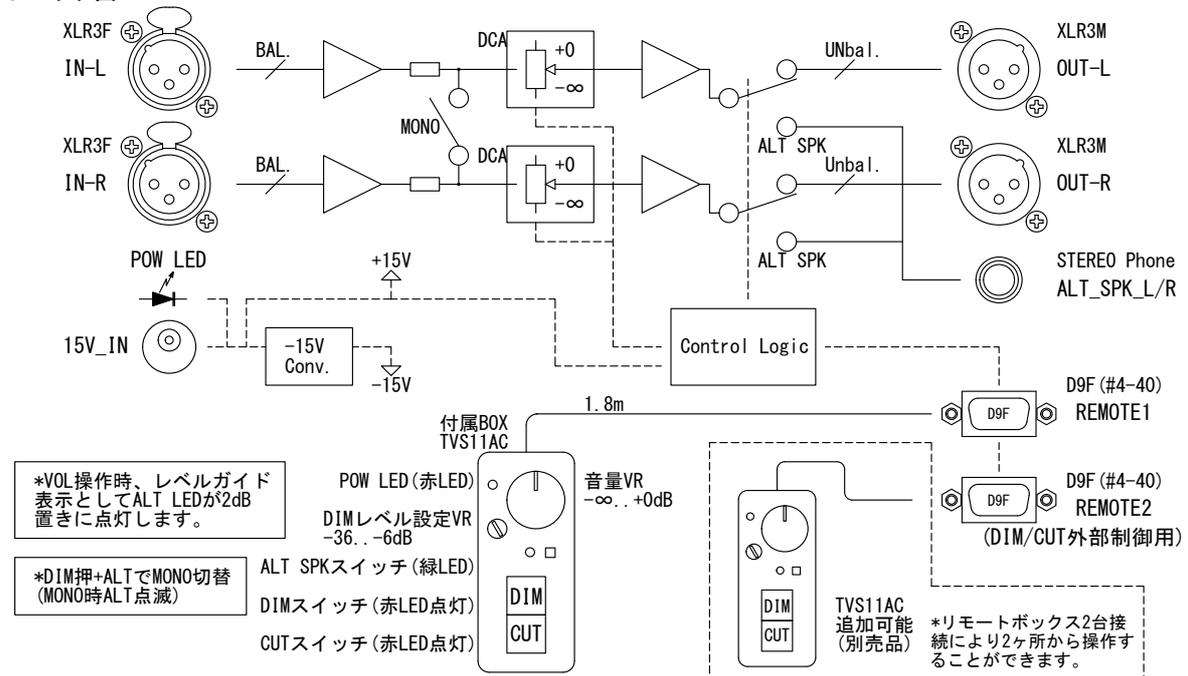
型番: TVS11A

SPEC.

電源:	AC100V, 50/60Hz 付属ACアダプター15V, (本体15VDC)
消費電力:	3.5Wmax/AC100V, (本体15V/90mA (idle), 200mA (max))
音声入力:	XLR3F type x2 電子バランス, IZ=20kΩ, +4dbu基準 最大入力>+24dBu (許容入力<+26dBu)
音声出力:	XLR3M type x2 2HOTアンバランス/STERO Phone, OZ=50Ω, +0dBu基準 最大出力>+20dBu
伝達特性:	THD+N<0.01%@G=1/+4dBuOP/ZL=Hi, ノイズ<-92dBu/G=-78~0dB, Rin=0Ω no-wtg, VOL. Step: 0.5dB/max~-35dB ゲイン調整幅/-∞~-78~0dB, レベル偏差/f: 20~20kHz +0.2dB, L/R: 最大~-40dB分減衰 +0.5dB
制御入力:	D9F (#4-40) type x2 定格別途記載
動作温度湿度:	5~35°C, 20~80%RH (非結露)
外形寸法:	W140mm / H42mm / D100mm (コネクタおよび突起部除く)
質量:	0.45kg (本体のみ, ACアダプター(0.08kg) 除く) / 付属品TVS11AC 0.13kg
付属品:	リモートボックス(コード1.8m) 1ヶ, ACアダプター(コード1.5m) 1ヶ, 取扱説明書 1部

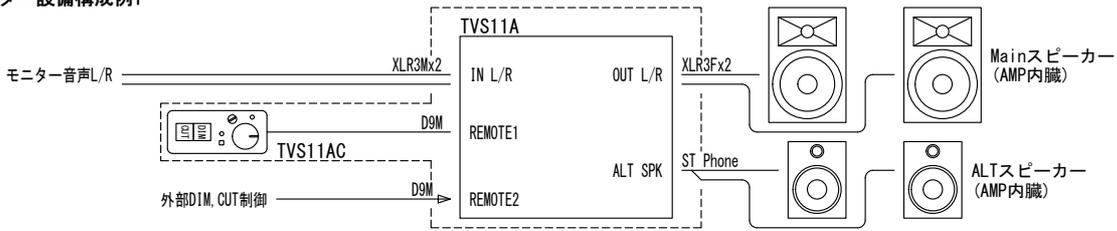


ブロック図



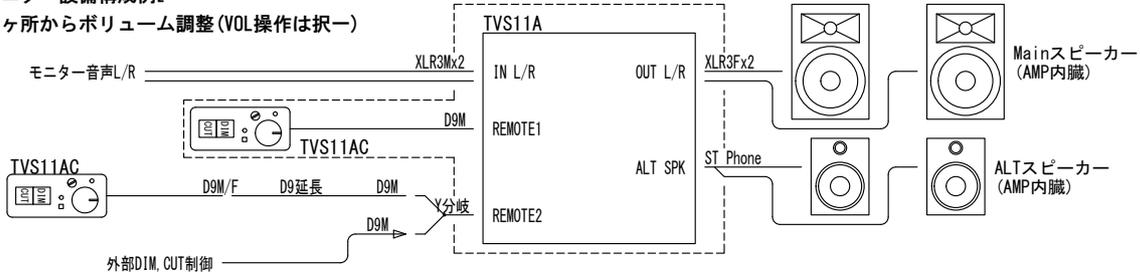
TVS11A

モニター設備構成例1



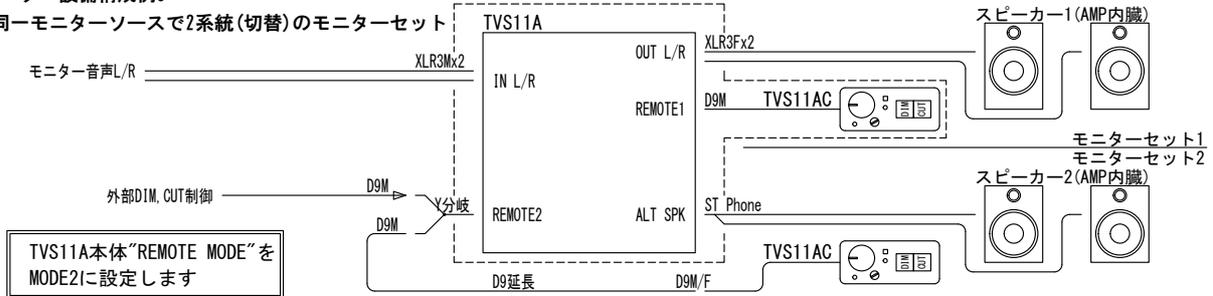
モニター設備構成例2

*2ヶ所からボリューム調整 (VOL操作は択一)

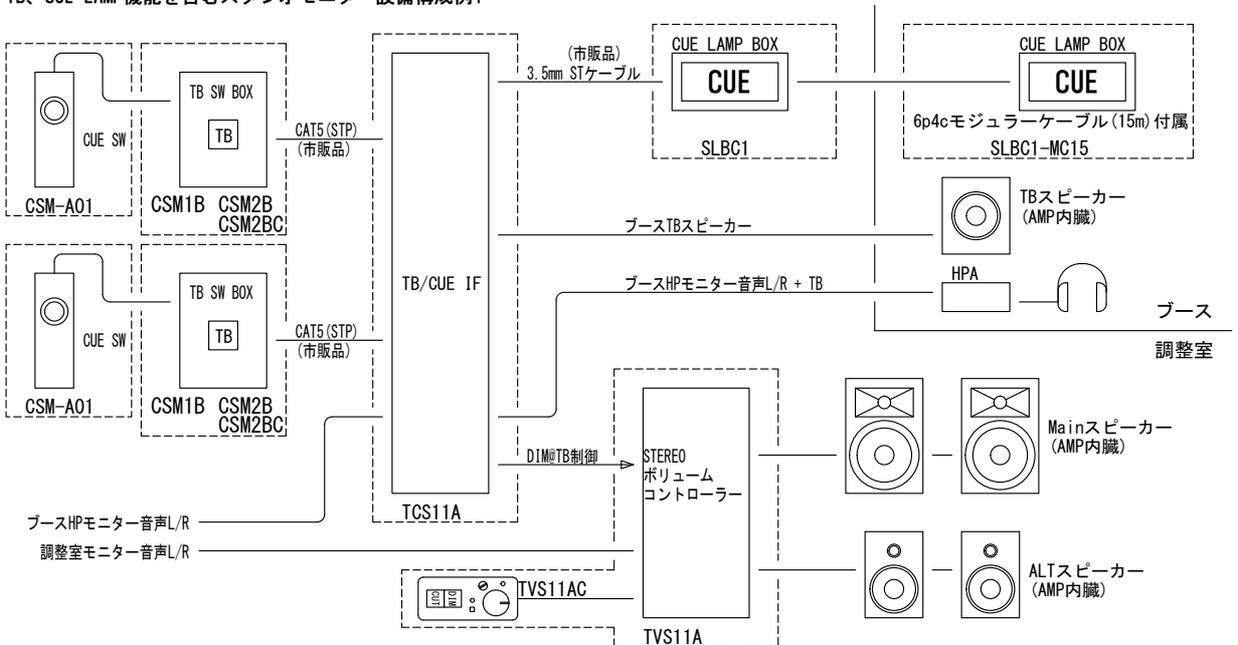


モニター設備構成例3

*同一モニターソースで2系統(切替)のモニターセット



TB、CUE LAMP機能を含むスタジオモニター設備構成例4



取扱説明書-2

安全にお使いいただくためのご注意

安全にお使いいただくため、本製品の設置前、及びご使用前に、以下をよくお読みください。
ご使用中も取扱説明書本書と一組としていつでも見られる場所に保管してください。

！警告

- 本製品に付属品以外のACアダプターを接続しないでください。火災や感電の原因になります。
- 付属ACアダプターは本製品専用です。他の機器に接続しないで下さい。
- ACアダプターの電源電圧はAC100V(50/60Hz)専用です。他の電圧の電源を接続しないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは確実に差し込んでください。抜けかかった状態で端子が露出していると火災や感電の原因になります。
- ACアダプターのコードは束ねて使用しないでください。ACアダプターのコードの上に物をのせしないでください。ACアダプターのコードの温度が高くなった場合やコードに傷がつくと火災や感電の原因になります。
- 本製品やACアダプターに水がかかったり、内部に水が入ったりしないようご注意ください。火災や感電の原因になります。
- 取扱説明書に記載される設定操作を行うために本体ケースを開ける場合は先にACアダプターの電源プラグを抜いて十分時間をおいてから行ってください。電源プラグが接続されたまま本体ケースを開けるのはショートや感電の危険があり危険です。電源プラグが抜けていることを必ず確認してください。
- 落雷の危険がある場合は本体、ACアダプター、コードに触らないでください。感電の危険があります。なお、落雷が近いことが事前に確認できる場合はACアダプターの電源プラグを抜いてください。
- 本製品使用中に火花や煙が出る臭いがあるなど異常を感じたら速やかにACアダプターの電源プラグを抜いてください。そのまま使用を続けると火災や感電の原因になります。
- 落下物などの衝撃を受けた場合は、電源プラグを抜いて本製品を動かしてみて音がするか確認してください。内部部品脱落や異物混入の可能性を感じた場合は決して電源プラグを接続しないでください。(電源が入っている時は動かさないでください)

！注意

- しっかりした安定な場所に設置してください。落下等の衝撃が加わると、火災や感電の原因になります。
- ストーブ等、高温になる器具に本体及びACアダプター、コードを近づけないでください。火災や感電の原因になります。
- 周囲温度が高い場所で使用しないようご注意ください。火災の原因になります。
- 本製品はエアコン等により周囲温度の安定している屋内専用です。屋外で使用しないでください。
- 放熱穴がある場合放熱穴を塞がないでください。火災の原因になります。
- 配線工事を伴う設置の場合、配線接続が正確に行われているか、専門業者により十分に確認してからご使用ください。間違った配線のまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 時々、ACアダプターの電源プラグを抜いて、コードの傷や電源プラグに変形等の異常が無いか点検してください。異常がある場合は、販売店にACアダプターの交換を依頼してください。異常のあるACアダプターを使用すると、火災や感電の原因になります。
- 本製品を長期間使用しない場合は、コンセントからACアダプターの電源プラグを抜いてください。長期間、コンセントに電源プラグが挿し込まれたままになっていると、ほこりなどの付着によって、火災の原因になることがあります。
- 濡れた手で電源プラグに触らないでください。感電の原因になります。
- 汚れやほこりなどは乾いた布で拭き取ります。汚れが酷い場合は薄めた中性洗剤を付けた布を固く絞って拭き取ります。アルコールや揮発性溶剤は使用しないでください。

接続に関する注意

- ・音声入出力への直流電圧接続禁止。
- ・音声出力に他の音声出力や外部機器音声出力を接続する等、外部的なショートに該当する接続禁止。
- ・定格外の接続、電気的に正しくない接続禁止。

*本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。海外での使用は品質保証対象外となりますのでご注意ください。

** 本書で、配線接続に関する説明も行っています。安全にお使いいただくために、配線接続工事を伴う場合は専門の業者に依頼し、十分な動作確認を行った上でご使用ください。

品質保証規定

ゲッコーエレクトロニクス製品は機能的な影響が無いごく小さなキズ等に対する配慮はなされていません。ご了承ください。

ゲッコーエレクトロニクスは、当事業者社及び当事業者の正規販売代理店から購入されたゲッコーエレクトロニクス製品の品質を、購入の日より1年間保証します。保証修理品の送付方法については販売店にご確認ください。特別な理由(販売店に連絡が取れない等)により当事業者に直接保証修理依頼を行う場合は、下記修理品受付連絡先宛てに先ずeメールまたは電話でご連絡ください。販売店、直接、いずれの場合も修理を依頼する場合は購入日を示す納品書またはレシート等のコピーが必要になりますので購入日を示す納品書またはレシート等を保管しておいてください。

*修理品を送る場合の送料は原則お客様の負担となります。

この品質保証規定は以下の項目のうちのいずれかに該当する場合無効となります。

1: 目的外の使用、本製品を改造(当事業者により行われた改造を除く)、取扱い説明書に記載されていない分解、誤った使用(誤配線による故障も含まれます)、乱暴な取り扱い、この他一般に精密電子機器に対するものとしては不適切な取り扱いを行った場合。

2: 当事業者及び当事業者の正規販売代理店以外から購入された場合。

3: 中古品を購入した場合。

*消耗部品、摩耗部分については、保証の対象外です。

この品質保証規定は、本製品のみを保証するものであり、本製品の使用によって生じたいかなる損害も補償するものではありません。

*修理代替品については原則ご用意していませんが、デモ品等を充当できる場合もありますので販売店にお問い合わせください。代替品の送料と送付手数料は原則お客様の負担となります。

修理品の取り扱いについて

修理品の送付方法については基本的に上記同様です。修理品送付後、修理実行前に修理暫定見積もりを希望される場合で、未修理返却の場合は修理暫定見積もりは有償となります。この場合は修理暫定見積もり料金と送料(代替品送付の場合は加えて代替品送料および送付手数料)をご負担願います。

修理品受付連絡先

ゲッコーエレクトロニクス 製品修理受付担当
TEL:045-548-4384 / FAX:045-548-4385
email: info@gecko-el.jp